「私は、“アッラー以外に崇拝すべきものはなし、そしてムハンマドはアッラーの使徒である”と証言し、礼拝を遂行し、浄財を支払うようになるまで、人々と戦うことを命じられた

イブン・ウマル（アッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（アッラーからの祝福と平安あれ）は言った： 「私は、“アッラー以外に崇拝すべきものはなし、そしてムハンマドはアッラーの使徒である”と証言し、礼拝を遂行し、浄財を支払うようになるまで、人々と戦うことを命じられた。もし彼らがそうするならば、彼らは彼らの生命、財産を私から守られる。ただし、イスラームの権利に関するものは別であるが。彼らの清算は、アッラーにのみ委ねられる。」
[صحيح] [متفق عليه]

預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は、このように言っている：私は、並ぶものなきアッラー以外に真に崇拝に値するものはなし、そしてムハンマド（アッラーからの祝福と平安あれ）はアッラーの使徒である”と証言し、一日５回の礼拝を遂行し、義務の浄財をその受給資格者に支払うといった、その証言が要求するものを行うようになるまで、人々と戦うことを命じられた。 もし彼らがそれらのことを行うならば、彼らはイスラームによって、彼らの生命、財産を守られる。イスラーム法によって殺害が認められた犯罪や傷害などを犯さない限り、彼らの生命は保証される。そして彼らの清算は審判の日、内実をご存知のアッラーに委ねられることになる。

http://sunnah.global/hadeeth/ja/show/4211